

原発県民投票アンケート

*なぜこの運動に参加しましたか

- ・環境破壊は人間が利便性のみ追求した結果起こったこと。子ども・孫の代まで住みやすい美しい自然環境を残してやるのが、われわれ大人の責務。デスクワークでものを言っている人たちは、福島原発を見ても誰一人責任をとっていない
- ・原発の恐ろしさを知ったから
- ・1986年チェルノブイリで起きた原発事故の悲惨さはまだ記憶に残っていますが、福島第一原発事故で世界中の大気を汚染し、拡散された放射性物質で健康を損なわれる現状に、地震国日本で再び原発事故を起こしてほしくない、廃炉の声を上げなければの思いから。

*一番思い出に残ったこと

- ・メディアで繰り返し報道された結果、被害と受けた人たちの意見を上は吸い上げていないし、段取りの悪さ、復興行動の遅れが目立つ。我々静岡県民は東海地震が想定され得ている中、原発は制御できないものである限り認めるべきでないという個人の意見発表の場が県民投票。
- ・原発反対なのに行動しない人が多いこと
- ・どの受任者も真剣に取り組む姿勢に、おざなりになりがちな自分を見つめる機会となりました。
- ・エネルギーは血流と同じ大切な問題である以上、わたしを含め便利な生活が当たり前と思っている今日、もし不便な生活を強いられた場合の覚悟、私たち一人一人の進化を問われていると、活動を通じて痛感しました

*つらかったこと

- ・「汗水たらしてこれだけ頑張っても、長いものに巻かれろ！で国も県も変わらないと思う」と署名しながら話してくれる人たちに、「だからこの一人一人の署名で変えていこう！」というのが精いっぱいだったこと
- ・ありません
- ・既成政党だと思われたこと

*楽しかったこと

- ・「ご苦労様」「頑張ってネ」「ありがとう、私たちの代わりに行動をおこしてくれて」こんな励ましの言葉がどれだけ嬉しかったか。力が湧いてきたか。署名してくれた人たちと、心の意図が結べたような気持ちになれたこと
- ・いろんな人がどんどん署名してくれたこと

- ・県民投票に向け懸命に活動したもので、この設問には違和感を覚えます

*各活動でのエピソードや感じたこと

- ・十人十色、いろんな人のいろんな考えに出会い考えさせられたことも多々あった。
- ・日本人は自分の意見を持つ人が少ないのか、恥ずかしいのか、他人任せのと思えた（シール投票）
- ・原発賛成の人も、他人任せの人もいた。いろんな人がいると思った
- ・運動に参加しているメンバーたちと長いものには巻かれを主義の住民の海田の温度差を感じた。聴いているようで聴いていない。」
- ・連日マスコミで報道されているのに、多くの市民は関心が薄く、県民投票とはいかなるものか、説明を要した
- ・自らは行動を起こさないが、原発の是非と問われると反対派は多い

*運動のやり方などについて

- ・一人一人の思いが署名ではなかなか実数にならない
- ・意見集約の難しさ。個人的な発想に固執し。歩み寄りも見せないことがたびたび。
- ・努力を数字に変えるのがこんなに大変とは思わなかった
- ・はじめての経験、活動費捻出には大変な知力と労力が必要と痛感しました
- ・どこかの政治組織と思っている市民が多いので、課題が残ったように思うのですが
- ・会議では短時間に密度の濃いミーティングができてよかった

*行政・知事・議員へ一言

- ・議員の本音を聞きたかった
- ・団体でなく個人の意見を持って行動してほしい
- ・党を背負っているためか、自分の意見を押し殺しているのか、なかなか本音と出会えないいらだちを感じた
- ・議会は、本題の原発是非について話し合う時間がないほど、入口論で空回り。本当に無駄だったし、残念。
- ・県議にしろ知事にしろ、しっかり自分の意見を表明して、今の位置にあるなら事あるごとに自分の意見を言うべき。他人の顔色を見すぎ。
- ・党利党略、既得権を守ることに終始した自民党県議は政治屋であって政治家ではない
- ・権力を見せつけられて吐き気がします
- ・誰であっても応答する議員は本音と裏腹で、建前の対話集会に異議があったのか疑問です

*これだけは言いたい

- 日本から原子力をなくすことがこれからの日本を創る
- 日本医原発はいらない。広島・長崎・福島。何度痛い体験をすれば目が覚めるのか。原発の代わりに環境にやさしいものに変えるべき。
- 東海地震がいく起こるかわからない現状。活断層のずれによって南海トラフの北側兄は遠州灘という曲帯が室戸岬・紀伊・小名江崎まで 400 k に伸びているとのこと。東洋大学・渡辺満久教授（変形地形学）による調査・ビーチグラベル（海底にある丸い石）の痕跡から海拔 130 m 隆起してできた牧の原台地は 12~13 万年前は海の中だったようです。台地から 7 k 先には浜岡原発があり、地震により福島第一原発事故の二の舞は火を見るより明らか。しかし岩盤に世知、防波壁を嵩上げしたから大丈夫だとの中部電力の発言。浜岡原発は原子力規制調査の対象外だとのこと。1993 年大分県九重町で地熱発電開発のプロジェクトが計画されたものの、通産省 OB オーナーのゼネコンと組み、原発誘導に動き計画はつぶされた経緯があったとのこと。自然界の脅威より経済優先・利益誘導の社会が民主主義国家なのでしょうか。社会主義国家と土緒が違うのでしょうか

*次に県民投票運動をするとき注意すること

- 可能性があれば人間は行動するので可能性の追求が必要
- 住民一人一人が納得できる可能性を追求したうえで行動するのが、一番効果的。
- なぜ県民投票が必要なのかをわかりやすく書く。こまかく書いては読まれない。